

スワいち

取り組みに至る背景・事業の目的

- 各地域で活動をしている「まちづくり」団体が市町村の枠を超えて相互に交流する機会を作るため、諏訪湖周3市町（岡谷市、諏訪市、下諏訪町）で活動する団体で諏訪アライアンスプロジェクト「さいか」を立ち上げた。
- それぞれの団体が持っている情報、人材等を共有、補完し合い、ゆるやかなネットワークの醸成を目指し、各団体がそれぞれの地域で開催しているイベントを同日に開催する広域型連携イベント「スワいち」を平成18年度に開催し、平成19年度からは、諏訪地域6市町村に連携範囲を広め、開催している。
- このイベントを通して、自分たちが暮らす地域をゆっくりと歩くことで、地域に点在する魅力や素晴らしさを感じる機会を提供し、まちづくり団体や個人のネットワークづくりのきっかけとする。

事業内容

- 「スワいち」の開催 平成22年2月20日（土）
- 岡谷、下諏訪、上諏訪、茅野、富士見の5エリアで開催
- 古語の「をかし」（面白い、興味深い、心惹かれる）をキーワードに、「お菓子」を中心に据え、それぞれのエリアの商店街等で菓子の販売、楽しめるイベントを開催
 - ・をかしまつり（菓子販売）
 - ・短編映画上映
 - ・クラフトフェア 等
- 5会場間を結ぶJRの臨時列車「スワいち号」の運行
- 共通マップの作成



【第4回スワいち（菓子づくり体験）】

事業効果

- 各地域でのイベントを同日開催し、会場間を結ぶ列車を運行したことで、相乗・回遊効果が生まれ、大勢の来場者で賑わった。
- 各会場への来場者数 8,700名
- 各会場を回遊する電車・バス乗車数 600名
- 各会場への出店店舗・個人数 250軒
- 連携への参加団体や個人数は前年を大きく上回った（61団体・個人（前年40団体・個人））。商従事者だけでなく、諏訪地域内の様々な職種のグループの参加がはじまっている。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 新しい企画を無理に作るのではなく、既存の各団体が取り組んでいる活動の延長線上で各団体ができる範囲での企画を持ち寄り開催することで、イベントとして継続できている。
- 今回は各市町村の観光施設等とも連携を行い、観光活性化の一助として連携を深めた。
- 各地区でのイベントを同時開催することで、回遊・相乗効果による参加者の増加とともに、地域の一体感が醸成されてきている。この連携をさらに発展させ、比較的参加率の少ない八ヶ岳山麓地域も含めた仲間作りを計画していく。

【選定のポイント】
 4回目の開催となり、冬期イベントとして定着してきている。イベントを通じて地域の様々な団体の連携づくりにつながり、参加団体数も増加しているなど、取り組みの成果が現れてきている。

団体名	NPO法人匠の町しもすわあきないプロジェクト（下諏訪町）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	電話 0266-27-9033	事業費	1,817,515円
		支援金額	1,600,000円